

しいの実

なかなか梅雨が明けず、ジメジメムシムシとした日が続いていきます。初めての夏を迎える子どももいます。気持ち良く楽しく過ごせるように水遊びを楽しんでいます。屋上や保育室のベランダを利用して、タライに入れた水の中に手を入れてみたり、バチバチと叩いて水しぶきをあげたりして遊んでいます。



初めて経験することにはとまどいも涙で表現します。それでも保育者が話しかけて遊ぶ様子を見てゆくりと少しずつ手を伸ばしています。8月も気温や子どもたちの体調を見て遊びを進めていきます。

食べる力は生きる力



母乳やミルクを飲んでいた子どもたちが、おもちゃから始まり初めての食材に出会っていきます。おうちの人にスプーンを使って口の中に運んでもらうことで、口を自ら開け、食べることから徐々に子ども自らお皿に手を伸ばし、食材を触ろうとします。

食に対する意欲の表れで

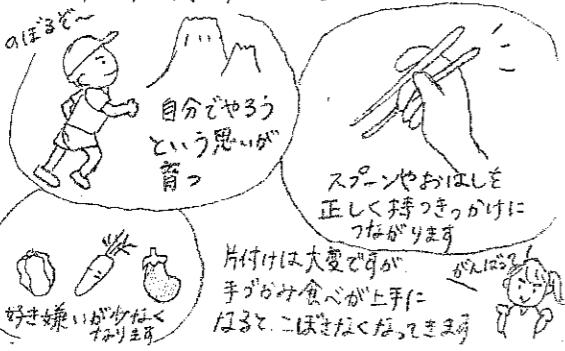
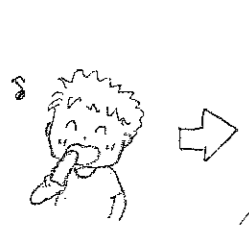
この意欲は自分で食べたい！という思いにつながっていきます。手がらみで食べるようになります。ここで「こぼれて汚い」「掃除が大変だから」と手がらみをさせず、スプーンで大人が与え続けると受け身で食べるようになります。



自分でやりたい！と思い実行することはとても大切です。食だけでなく、遊びの意欲にもつながっています。やりたいことをしている時の子どもは生き生きとして、夢中で食べ、夢中で遊び



かけても自分で立ち上がる力や、好き嫌いをなく食べる子どもが育ちます。まずは食事から、大人の思いではなく子どもの思いに共感し進めていこうと思います。家でも少しずつ同じ思いでしてみませんか？



しいのみたんぽぽ*みずぐみ クラスだより 7月

暑さも日々増して本格的な夏の訪れを感じます。7月に入り子どもたちが大好きなプール、水あそびが始まりました。この季節ならではの氷や絵の具、寒天等を使った感触あそびも取り入れていきます。水や色々な素材に触れ、親しみ、心地良さを感じられるような関わりを大切に楽しんでいきたいと思ひます。

たんぽぽぐみ

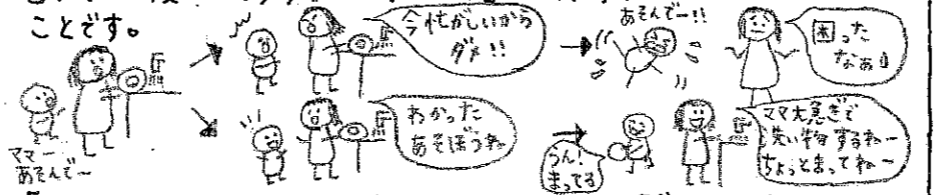


☆7月のあそび☆

コロナウイルスの自粛が明け、毎日元気に登園している子どもたちです。少しずつ園での生活を矢張り、安心する保育者の見守りの中でそれぞれの楽しいあそびを見つけています。最近では泥んこやめたくり、寒天を使って、感触あそびを楽しんできました。大胆に心と身体を開放してあそぶ子どもや、ネカメは様子を見ている子ども、ネカメの感触に驚く子どももいます。造形活動として様々な感触に触れてあそび、思いのまま自由に表現する面白さや、手や身体全体の感覚を働かせて、能動的にあそぶ楽しさを味わえればいいなあと思ひます。

☆イヤイヤと向き合う☆

ダダコネやイヤイヤ... 1歳すぎと頃から子育てしている中で「困ったなー」と思うことが増えてきたのではないのでしょうか？どの子どもにも共通の発達の現れで、周りからの働きかけや刺激に対して自分の意思を主張できるだけの主体性が育ていなければ「イヤ」と表わすことは出来ません。なのでひとまず「歓迎しよう！」とおいえ、やはり困ってしまうダダコネは徹底的に「～したい！」という一方的な主張から、1歳半すぎには一旦激しく主張した後で自分の気持ち切り替えていく「～ではない、～だ」という風に変わってきます。これは我慢を強要するのではなく、自分の気持ちを乗り越えていくことなのです。



「わかった」のひと言で自分の要求が受け止められたことにより、子どもの心に余裕が生まれる→思い通り周りに目を向けず、選択ができる「イヤ」「イヤじゃないの！」がくり返される子どもは大人の言い聞かせを打ちやぶるよう力を込めてダダコネをするようになります。その時のダダコネは周りに目を向けられず、何が何でも自分の気持ちを押し通そうとする強さを持っています。大人も子どももバにゆとりを持つことがやはり大切なのです。子育てに時間と根気が必要な時ですが、同時に他の年齢では味わえない子育ての喜びも感じられる時期でもあります。おうちでも子どもとのやりとりを工夫してみ、また教えて下さい。嬉しかったこと、面白かったこと、たくさん共有していきたいと思ひています。

みずぐみ 2歳児クラス

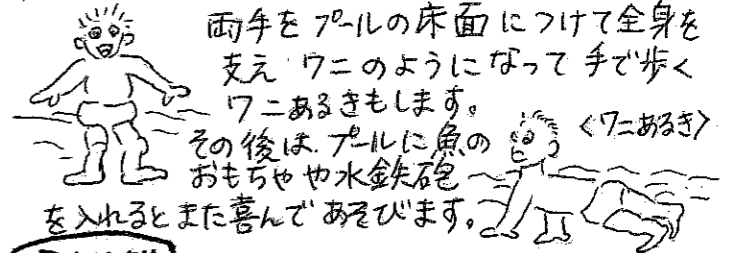
泥んこあそび

泥んこあそびは、子どもたちの大好きなあそびです。園庭を子どもたちといっしょに掘って水を運びます。池や川になった所に子どもたちは大はしゃぎします。みんなで裸足になってジャブジャブ歩いていくと、そのうち子どもたちはピョンピョン跳んで水が飛び足元をのを楽しみ始めます。「あー、すごい！うさぎみたいやねえ」と保育者もいっしょにやり始めます。腕や足にも泥がついても平気です。保護者の方には、洗濯をしてもらいありがとうございます。

プールあそび

プールに入ると水が冷たく感じて「ワーン」と言う子どもたちです。水のかけっこをするとすぐに慣れて、ニッコリ笑顔になります。

次に身体全体を使って、あそび！水につかて、アヒルあそび！両手を広げてアヒルあそびをします。



ことば

「〇〇ちゃんだい」のような2語文を話すようになってきました。これから3語文になり会話が成り立つようになってきます。「あなたのお名前は何？」と名前を聞かされるとはりきって言うようになってきました。絵本の読み聞かせの際、少し長い話も最後まで聞いてもらえる力が少しずつついてきています。この時期の子どもたちは今まで家族や周りの人から沢山話しかけてもらって、心の「タンク」に大事にしまっておいた言葉が、一斉に飛び出す頃です。これからの言葉の世界の広がりが楽しみですね。

- ～おねがい～
- ・夏の暑さを乗り切り、元気に過ごす為に朝食をしっかり食べ、早寝早起きを心がけてください。
- ・下着・洋服・タオルの名前が消えかかっているものなど確認をお願ひします。